

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 東洋インキSCホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 4634 URL <http://schd.toyoinkgroup.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北川 克己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当

(氏名) 青山 裕也

TEL 03-3272-5731

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	60,320	△1.5	3,925	△9.0	4,096	△11.6	1,971	△27.8
24年3月期第1四半期	61,255	2.8	4,314	△12.1	4,635	△7.0	2,731	△7.8

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 3,583百万円 (△4.8%) 24年3月期第1四半期 3,765百万円 (133.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	6.61	—
24年3月期第1四半期	9.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	283,002	148,693	51.1
24年3月期	283,144	146,913	50.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 144,652百万円 24年3月期 143,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	126,000	2.4	7,500	1.9	7,500	4.2	3,800	7.6	12.74
通期	255,000	3.9	16,000	17.2	16,000	19.0	8,000	10.5	26.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	303,108,724 株	24年3月期	303,108,724 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	4,718,625 株	24年3月期	4,718,072 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	298,390,225 株	24年3月期1Q	298,395,987 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料は平成24年8月9日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における経済状況は、国内は復興需要を背景として、緩やかに回復しつつあるものの、欧州の財政危機はさらに先行き不安感が高まってきており、中国やインドを始めとする新興国も伸び悩むなど、世界的に景気の減速感が広がってきました。

当企業グループの事業環境におきましても、国内外とも需要が伸び悩むとともに、原材料価格の高止まりが続いております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は603億20百万円（前年同期比1.5%減）と減収になりました。え、営業利益は39億25百万円（前年同期比9.0%減）、経常利益は40億96百万円（前年同期比11.6%減）、四半期純利益は19億71百万円（前年同期比27.8%減）と、それぞれ減益に終わりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 印刷・情報関連事業

オフセットインキは、国内では、デジタル化に伴う構造的不況に加え、景気回復の遅れによる需要の伸び悩みが続きましたが、大震災直後の広告自粛の影響を受けた前年同期に比べると、商業や新聞印刷の需要が回復したうえ、オフ輪インキ新製品や、高感度UVインキなどの高性能製品の拡販が進みました。一方、海外では、これまで伸長著しかった中国や東南アジアで景気が減速、売上が伸び悩みました。え、原材料価格の高止まりで利益も圧迫されました。

グラフィックアーツ関連機器及び材料は、国内オフセット印刷市場の設備投資需要の冷え込みが続き、低調な結果に終わりました。

これらの結果、当事業全体の売上高は178億95百万円（前年同期比0.8%減）と微減になりましたが、営業利益はコストダウンを進めた結果、2億88百万円（前年同期比17.0%増）と増益になりました。

② パッケージ関連事業

グラビアインキは、国内では、主力の包装用が前半はプライベートブランド向けなどで堅調に推移したものの、後半は伸び悩み、震災後の品不足対策の先行需要が発生した前年同期の水準までは至りませんでした。また出版用は減少傾向が続きましたが、建装材用は復興需要で好調に推移しました。海外では、中国や東南アジアでの食品包装用の需要が伸び悩みましたが、北米での建装材用は好調に推移しました。

また、グラビア印刷用シリンダー製版事業は、包装デザインの変更需要が伸びず、低調が続きました。

これらの結果、当事業全体の売上高は134億88百万円（前年同期比2.1%減）と減収になりました。え、原材料価格の高止まりが営業利益を圧迫しましたため、営業利益は4億67百万円（前年同期比17.2%減）と減益に終わりました。

③ ポリマー・塗加工関連事業

缶用塗料（フィニッシュ）は、国内では減少傾向が続いているうえ、天候不順もあって飲料缶向けが低調でしたが、東南アジアや中国では食品缶を中心に堅調に推移しました。また樹脂は、復興需要により国内の建築関連用が堅調でした。

接着剤は、前半堅調でした包装用が後半減速しました。え、太陽電池用も低調が続きました。また粘着剤は、自動車関連が堅調でしたものの、ラベル用は伸び悩みが続きました。一方、塗工材料は、スマートフォン用電磁波シールドフィルムを始めとするエレクトロニクス関連、広告サイン用とも需要が回復してきました。

これらの結果、当事業全体の売上高は130億13百万円（前年同期比4.2%減）と減収になりましたが、営業利益はコストダウンを進めた結果、11億40百万円（前年同期比19.5%増）と増益になりました。

④ 色材・機能材関連事業

汎用顔料は、国内、海外とも、自動車関連は回復基調にあるものの、印刷関連の伸び悩みが続きました。

プラスチック用着色剤は、国内外とも、容器関連、自動車関連とも需要が回復してきました。え、太陽電池関連への拡販も進みました。しかし、引き続き原材料価格の上昇が、営業利益を圧迫しました。

高性能顔料や液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、タブレット端末やスマートフォン用の中小型パネル向けが堅調なうえ、韓国や中国への拡販を進めましたものの、テレビ需要の世界的な低迷が続きましたため、国内や台湾での販売が落ち込みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は161億47百万円（前年同期比0.4%増）と微増になりました。え、営業利益は17億45百万円（前年同期比12.3%減）と減益に終わりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産の四半期末残高は2,830億2百万円で、期首残高より1億41百万円減少しました。負債の四半期末残高は1,343億9百万円で、期首残高より19億21百万円減少しました。純資産の四半期末残高は1,486億93百万円で、期首残高より17億80百万円増加しました。

当第1四半期連結会計期間末日の為替レートが前連結会計年度末日のレートに比べ、一時的に円安に振れた為、海外グループ会社で保有する、資産、負債及び為替換算調整勘定がそれぞれ増加しました。また、国内グループ会社において、未払法人税を納付し、配当金の支払を行いましたので、現金及び預金が減少し、株式市況の低迷により、投資有価証券とその他の有価証券評価差額金も減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期におきましては、前期後半からの世界的な景気の減速感を背景に、需要の伸び悩みが続きましたうえ、原材料価格の高止まりが続きましたため、震災後の先行需要が発生した前年同期に比べると減収減益に終わりましたが、ほぼ期初の予想どおりに推移しています。それゆえ、平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年5月14日に発表した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ12百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,457	27,421
受取手形及び売掛金	81,413	82,492
有価証券	815	994
商品及び製品	22,009	23,721
仕掛品	1,248	1,626
原材料及び貯蔵品	12,896	12,070
繰延税金資産	2,184	1,707
その他	3,253	3,949
貸倒引当金	△568	△628
流動資産合計	155,709	153,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	80,067	82,317
減価償却累計額	△49,774	△50,318
建物及び構築物（純額）	30,293	31,998
機械装置及び運搬具	125,980	128,868
減価償却累計額	△108,295	△109,875
機械装置及び運搬具（純額）	17,684	18,993
工具、器具及び備品	20,174	20,350
減価償却累計額	△17,732	△17,924
工具、器具及び備品（純額）	2,441	2,425
土地	26,805	27,346
リース資産	184	212
減価償却累計額	△83	△95
リース資産（純額）	101	116
建設仮勘定	3,424	2,490
有形固定資産合計	80,752	83,370
無形固定資産	895	855
投資その他の資産		
投資有価証券	30,476	29,296
繰延税金資産	3,882	4,357
その他	12,016	12,257
貸倒引当金	△587	△490
投資その他の資産合計	45,787	45,421
固定資産合計	127,435	129,647
資産合計	283,144	283,002

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,766	44,732
短期借入金	35,306	36,242
未払法人税等	4,522	1,375
その他	14,531	15,349
流動負債合計	99,127	97,699
固定負債		
長期借入金	31,491	31,524
繰延税金負債	2,104	1,865
退職給付引当金	1,458	1,346
環境対策引当金	337	332
資産除去債務	31	32
その他	1,678	1,508
固定負債合計	37,103	36,609
負債合計	136,230	134,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,733	31,733
資本剰余金	32,920	32,920
利益剰余金	95,406	95,587
自己株式	△1,729	△1,729
株主資本合計	158,330	158,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,919	△4,384
為替換算調整勘定	△12,269	△9,473
その他の包括利益累計額合計	△15,189	△13,858
少数株主持分	3,772	4,040
純資産合計	146,913	148,693
負債純資産合計	283,144	283,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	61,255	60,320
売上原価	46,822	46,108
売上総利益	14,433	14,212
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,421	1,458
給料及び手当	2,450	2,503
賞与	596	583
福利厚生費	602	650
減価償却費	288	249
研究開発費	747	736
その他	4,012	4,105
販売費及び一般管理費合計	10,118	10,286
営業利益	4,314	3,925
営業外収益		
受取利息	19	24
受取配当金	290	309
為替差益	17	—
持分法による投資利益	63	25
その他	243	172
営業外収益合計	634	531
営業外費用		
支払利息	229	239
為替差損	—	50
その他	84	70
営業外費用合計	314	360
経常利益	4,635	4,096
特別利益		
固定資産売却益	0	7
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産除売却損	50	48
投資有価証券評価損	0	362
その他	33	—
特別損失合計	84	410
税金等調整前四半期純利益	4,551	3,692
法人税、住民税及び事業税	1,874	1,086
法人税等調整額	△137	580
法人税等合計	1,736	1,667
少数株主損益調整前四半期純利益	2,814	2,025
少数株主利益	83	53
四半期純利益	2,731	1,971

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,814	2,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△668	△1,466
為替換算調整勘定	1,566	2,918
持分法適用会社に対する持分相当額	52	107
その他の包括利益合計	950	1,558
四半期包括利益	3,765	3,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,557	3,302
少数株主に係る四半期包括利益	207	281

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	印刷・情報 関連事業	パッケージ 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	色材・ 機能材 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,941	13,499	13,263	15,391	60,095	1,160	61,255	—	61,255
セグメント間の内部 売上高又は振替高	94	278	316	694	1,384	409	1,794	(1,794)	—
計	18,035	13,778	13,580	16,085	61,480	1,569	63,050	(1,794)	61,255
セグメント利益	246	564	954	1,989	3,756	363	4,119	195	4,314

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、役員提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額195百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	印刷・情報 関連事業	パッケージ 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	色材・ 機能材 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,817	13,310	12,642	15,458	59,229	1,091	60,320	—	60,320
セグメント間の内部 売上高又は振替高	77	177	371	688	1,315	410	1,725	(1,725)	—
計	17,895	13,488	13,013	16,147	60,544	1,501	62,046	(1,725)	60,320
セグメント利益	288	467	1,140	1,745	3,642	242	3,884	40	3,925

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、役員提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額40百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。